

# 道 教 組

▶ DOKYOSO NEWS vol.517



## 道人事委員会勧告

ボーナスは国並みに、配偶者手当は半減

全教第54回中央委員会 終わる

助け合いの輪を広げよう

北海道・東北ブロック教組共闘2016学習交流集会

わたしのとっておき

# 道人事業委員会勧告

## ボーナスは国並みに、配偶者手当は半減

10月7日、北海道人事委員会は、知事と道議会に対し道職員給与の改定を勧告しました。

昨年度から始まっている「給与制度の総合的見直し」で平均2%削減されているもとは「昨年に続くプラス勧告」と言われても、多くの職員の賃金は上がりません。

道教組は「北海道公務共闘地公連絡会」として、ただちに【声明】を発表しました。

以下、解説を加えて勧告内容をお知らせします。

### ①給料表

初任層・若年層（概ね30歳未満）は1,500円引き上げ。その他は400円を基本に改定。

### ②期末・勤勉手当（ボーナス）

年間支給月数を0.2月分引き上げ（4.1月→4.3月）。昨年は4.2月で国家公務員より0.1月低かったが、今年は同じ4.3月になりました。ただし、引き上げ分は査定による勤勉手当に配分。再任用者にも適用する考えを示し、成績主義のさらなる推進と言えます。

	期末手当	勤勉手当	合計
6月	1.225月	0.75→0.85月	1.975→2.075月
12月	1.375月	0.75→0.85月	2.125→2.225月
合計	2.6月	1.5→1.7月	4.1→4.3月
解説	現行どおり	0.2月分はここに	国並みになる

### ③子の扶養手当

1人につき400円引き上げ。（6,500円→6,900円）

### ④家族扶養手当（配偶者／子／父母等の3区分）

区分	H28年度	H29年度	H30年度
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円
子	6,900円	8,000円	10,000円
父母等	6,500円	6,500円	6,500円

※国同様、2年間で配偶者手当を半減し、子の扶養手当を6,500円から段階的に1万円に引き上げ。

※①～③は、平成28年4月に遡って「差額」として支給されます。

### <シミュレーション>

1、配偶者と子ども1人を扶養している場合

区分	H28年度	H29年度	H30年度
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円
子ども1人	6,900円	8,000円	10,000円
合計	19,900円	18,000円	16,500円
差額	基準	-1,900円	-3,400円

2、配偶者と子ども2人を扶養している場合

区分	H28年度	H29年度	H30年度
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円
子ども2人	13,800円	16,000円	20,000円
合計	26,800円	26,000円	26,500円
差額	基準	-800円	-300円

3、配偶者と子ども3人を扶養している場合

区分	H28年度	H29年度	H30年度
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円
子ども3人	20,700円	24,000円	30,000円
合計	33,700円	34,000円	36,500円
差額	基準	+300円	+2,800円

4、配偶者のみを扶養している場合

区分	H28年度	H29年度	H30年度
配偶者	13,000円	10,000円	6,500円
差額	基準	-3,000円	-6,500円

このように、配偶者手当の減額分が子の扶養手当の増額分に追いつかないため、子どもが3人以上いないと減額になります。共働き家庭で子どもがいる場合は、子の扶養手当改定分だけ増額になります。

この勧告をふまえ、道教委と11月に3回（2日17:30～、10日19:30～、17日8:30～）交渉します。最終回には署名を柴田教育長に提出します。

# 全教第54回中央委員会終わる

10月15・16日、全教は東京都内で第54回中央委員会を開催しました。道教組からは新保副委員長と榎木書記長が参加しました。

以下、全教蟹澤委員長のあいさつと発言のいくつかを紹介します。

## 全教蟹澤委員長あいさつ



今年はユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「教員の地位に関する勧告」が出されてから50周年。この間、日本の教育は残念な状況が強まっている。意識して国際基準を追求することが必要だ。

9月、新しい学習指導要領の「審議まとめ」が出された。教育課程や内容、さらには「アクティブ・ラーニング」の強調で、教育方法までもが管理されようとしている。本来それらは、教師の専門職的独立性が保障され、学びあいながらつくっていくものだ。私たち教員が思考停止に陥らないようとりくまなければならない。

## 新保副委員長の発言



北海道では「ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会」として、高教組と共に自治体キャラバンにとりくんでいる。2年半で127/179自治体を回った。

今年回った10自治体の一部を紹介すると、ある町の教育長は「高校の全校生徒が20数人しかいない。先生方は本当によくやってくれている。町としても通学費補助をしている」と言っていた。また、別の町の教育長は「教頭の超過勤務を解消するために、校長に協力をお願いした」と、教育長が先頭切ってとりくんでいることがわかった。地方の教育長との懇談は実に楽しい。

## 榎木書記長の発言

「ゆいま〜る」に向けて、共済の学習会と加入促進にがんばっている。組合と共済の一体的運動



の具体化だ。行けば必ず何らかの共済に加入してくれる。直接訴えることが重要。パンフを配るだけではダメだと実感している。

組合加入者も前年度分を超え、現勢回復まで1ケタというところまできた。最近の加入者は「パワハラ」相談からの加入が特徴。加入の声かけは、青年だけでなくベテランも持ち味を生かしてとりくむべきだ。仲間を増やすためにこれからも頑張りたい。

## 青森高教組の発言

11月、南スーダンPKO派遣部隊が青森から出される。「駆け付け警護」と「宿营地共同防護」の新たな任務が付与され、隊員のリスクが高まるのは必至だ。青森の高卒生の自衛隊入隊率は5%。貧しさゆえの進路選択なので、教員として非常に胸が痛い。

## 大教組（大阪）の発言

中1から3年生まで全員が参加する「チャレンジテスト」が導入されようとしている。この結果で内申点が決まり、高校入試に学校間格差が用いられ、学校教育が大きくゆがめられようとしている。府民集会と署名にとりくみ、廃止をめざしたい。

## 全教千葉の発言

月ごとの教員未配置状況を県教委に調べてもらったら、8月22人、9月56人、10月69人という驚くべき実態が分かった。任命権者の責任を問いたい。

## 愛教労（愛知）の発言

PTA会長らには「部活動には意味がある」と根深い思いがある。「手当をつければいい」と言うが、手当をつけても超勤は解消されない。対策が必要。

全部で51本の発言があり、熱い2日間でした。

# 「北海道・東北ブロック教組共闘2016 学習交流集会 in 洞爺湖」に57名参加

10月8日、北海道と東北各県（山形以外）から57名が洞爺湖に集まり、教組共闘の学習交流集会を成功させました。

毎年持ち回りで開催していますが、今年には北海道開催ということで、講演を地元室蘭工業大学准教授の清末愛砂さんにお願しました。

## 交流集会 in 洞爺湖



清末さんからは「憲法前文を読んだことのある学生はほとんどいない。立憲主義を知っている学生が数人だけ」というショッキングな話から

始まりました。「憲法が私たち一人ひとりの権利を保障していることを認識していないのではないかな。緊急事態条項の危険な内容の解説、危険な内容を家族、友人、職場などで対話を通して伝えること」を強調されていました。

また、夜の交流会オープニングでは、道教組・高教組によるソーラン節の踊りを発表しました。忙しい中、両書記局が中心になってソーラン節の練習に励み、その成果が現れ好評でした。その後、各県からのユーモアあふれる発表・語りなどがあり、参加した皆さんも心が和んだようです。

## 各県報告で交流

- 北海道からは梶木書記長が、学校・職場づくり、学力テスト、教育キャラバン、人事評価制度などにふれて報告しました。
- 青森市は、毎週月曜日を定時退勤日にして、部活もなしでとりくんでいます。このことは保護者にも通知をしています。
- 岩手の小中学校は、日教組加盟です。岩手主審にお自衛官57名が南スーダンに派遣されています。



- 秋田の再任用はフルタイムしかないので、希望者は2割しかいない。秋田は全国学テで「学力日本一」と言われているが、学力テストの前に予備テストまであり、問題ではないか。
- 宮城では、県教委から「政治的教養教育における対応について」の通知が発出され、マスコミ等から学校に問い合わせがあっても生徒の紹介など仲介してはならないと指示されています。
- 福島では、フッ化洗口を無理やり押し付けてくる。天童市では、フッ化洗口している子どもの方に虫歯が多かった。震災5年半がたち、戻れない地域に学校が8校ある。

## 2日目は分科会と全教書記連絡会を開催

2日目は、A：学校・職場づくり、B：教育条件整備・教育運動、C：賃金・諸権利の3分科会と全教書記連絡会の4つに分かれ、各県からの報告と交流を行いました。

## オプションの「有珠山火口散策」に多数参加

2日目の終了後、「有珠山西口火口散策」体験のオプションに約40名が参加し、有珠山の特性や自然について観察し、学びました。

ガイドは火山マイスターの資格を持つ全教いぶりの佐茂さんと大越さんが務めました。地層のねじれや断層、壊れた建物など噴火による被害の様子がよく分かりました。



# 毎年、巨額の費用をつぎ込んだ「全国一斉学力テスト」による平均点競争・県別順位争いを改め、人間的自立をうながす教育を大切にしましょう

## 「全国学力・学習状況調査」結果公表に当たって【見解の概要】

9月30日、道教組・道高教組は、「全国学力・学習状況調査」結果公表に当たって「見解」を発表しました。今回は概要をお知らせします。

### 1 子ども・教員を「学力」競争に追い込む文科省・道教委は、人間的成長が期待される学校を息苦しい競争社会にかえています

柴田教育長は今回の結果を受け、「平成28年度全国学力・学習状況の本道の状況については、全国の平均正答率との差が小学校国語B、算数A、中学校数学A、Bの4教科で縮まり、特に中学校の数学においては全国平均との差が1ポイント未満となるなど改善の傾向が見られるものの、すべての教科において全国平均に届いていない状況にあることから、・・・北海道の子どもたちの力をより一層発揮させる必要があると受け止めています」とのコメントを発表しました。

児童生徒の質問紙調査では、国語や算数・数学の好きな児童生徒の割合が低下し、本来、人間的成長が期待されるべき学校を、息苦しい競争社会の縮図と化していると言えます。

### 2 「全国平均以上をめざす」道教委は、学校・教員・子どもたちを更なる学力競争に追い込み、本来楽しいはずの授業を「学力テスト対策」に貶めてはなりません

子どもも家庭も、そして教員も学力テスト対策に追い込まれ、学ぶこと自体を楽しみ、人間的関わりを紡ぐ、生きいきとした学校生活に陰りが生じていると言っても過言ではありません。

また、柴田教育長は、「平成29年度には、すべ

ての教科で全国平均以上となるよう目標の実現に向けて取り組んでまいります」とのコメントを返し、来年度に向け全道の子ども、教員、保護者をさらに追い込むことを表明しました。

### 3 学校別の結果公表が増えると、学校の序列化や過度な競争に拍車がかかります

わたしたちは、真に平和で民主的な社会を築くためには、何よりも全ての子ども・青年に市民として主体的に行動する「生きる力」「確かな学力」を身につけることが必要と考えています。

2014年度から文科省が自治体の判断による学校別成績の公表を認めることにしました。北海道においてもいくつかの教育委員会が公表し、まさに学校間の序列化につながります。

子どもや家庭、学校と教師を果てしない競争教育に駆り立てる「学力テスト」のあり方は直ちに見直されるべきです。

### 4 財界の求める競争主義、「全国一斉学力テスト」の弊害を改め、子どもたちの学ぶ意欲・能力・個性を引き出し、「人間的な自立」をうながす教育を大切にしましょう

グローバル人材を求める財界の根強い要請に沿って、競争主義で勝ち抜いた一部のエリートを中心とした社会、弱者冷遇の新自由主義的社会の形成に政府は躍起になっています。

毎年巨額の費用を投じて同じような傾向を把握するため、全員参加の「全国一斉学力テスト」は直ちに中止すべきです。

# 助け合いの輪を広げよう

## 全教共済は自主共済 つまりは「助け合い」です！

全教が運営している共済（自主共済）＝全教共済の加入を勧めるため、組合役員と書記が各単組・連絡会を訪問し、『全教共済まるごとガイドブック』を使った学習会を行ってきました。これまでの実施は25回。基本共済である「総合共済」と「教職員賠償責任共済（教賠）」と「くらしの賠償責任共済（くら賠）」をまとめて「ビッグスリー」といい、さらに「全教自動車保険」をプラスして、「ビッグスリー＋1（プラスワン）」として打ち出しています。

「総合共済」は、月600円の掛金で、結婚、出産、結婚記念日（15年、25年、35年のいずれか）などのお祝い給付と家族の死亡や災害見舞などのお見舞い給付があります。各種給付を受けても、退職時には退職給付として掛金全額が戻ります！

「教賠」は、月150円（ペットボトル1本分！）で通常業務中に起こった事由で損害賠償責任を負った場合、弁護士の初期対応費用やお見舞い品の購入費、さらには争訟費用（弁護士・裁判所提出文書作成費用）などに給付があります。

「くら賠」は、月100円で、日常生活における法律上の賠償責任から家族をまるごと守る共済です。自転車で歩行者をケガさせた、子どもがボール遊びで近所の家の窓ガラスを割った、愛犬が人にかみついたなどの補償を、国内無制限、国外1億円で対応します。

組合が自主共済として運営していますので、儲けはなく、加入者の声を聞きより良い給付内容をつくってきました。まさしく「助け合い」の内容です。

管理職も加入できます。道教組加入の有無は問いませんので、ぜひ、周りの教職員にどんどん広げてください！

## 組織強化・拡大で 道教組を強く・大きく！

年々過酷になる学校現場。「学校って、こんなに窮屈だったっけ？」「退職まで働き続けられないかも…」と、ため息ばかりが聞こえてきそうです。

こんな現状を「働きやすい職場」「子どもたちにとって通いたくなる学校」「自分たちがめざすのはどんな学校か」と、より良く変えていくために組合があります。

道教組が大きくなることで、「おかしいことをおかしい」と言える仲間が増え、仲間が増えることで学校を、そして子どもたちの教育を少しずつ変えていくことができるのです。

道教組は今年、例年になく多くの組織で新しい仲間を迎えています。これまでのねばりづよいはたらきかけが実ったり、思い切って「組合に入ってほしい」とか「ともに学んで成長しよう！」と訴えたところで加入者を迎えています。もう少しで今年3月末に減った人数を取り戻すところまでできています。

## 加入の声かけは すべての世代で行いましょう！

全教の会議でも組織強化・拡大は重要なテーマです。そこでよく言われるのは、「青年が青年を誘う」という言葉。過去、道教組内でも「拡大は青年がやればいい（年配の俺にはできない）」という声を聞いたことがあります。

加入のきっかけは様々あります。青年が持ち前の「元気」「やる気」「勢い」をいかして知人・友人・同僚を誘うことも大事です。一方、ベテランだって経験と学びで培った「包容力」と「安心感」で加入に結びつけています。ですから、加入の声かけは、全世代ができる組合活動です。みなさんがんばりましょう！

# 1月の「全国障害児学級&学校学習交流集会in北海道」に全道から参加を

2017年1月7日(土)～9日(月)、札幌市のかでる2・7を会場に、全国規模の学習交流集会在開催されます。特別支援関係者のみならず、通常学級の教職員にとってもかなり参考になります。全道各地から、是非ご参加ください。

組合員の参加者全員に交通費補助がありますので、金額については各単組・連絡会または道教組にお問い合わせください。

## 【1月7日(土)】

### ◆記念講演 (15:00～16:50)

「学校は力を合わせてつくるもの  
～子どもから学ぶことは?～」

対談：山田 隆司(元雨竜高等養護学校)  
戸田 竜也(北海道教育大学釧路校)

### ◆全体交流会 (18:30～)

京王プラザホテル 参加費6,000円

### ◆てんこもり講座 (9:30～11:30)

楽しい算数、楽しい国語、楽しい美術、障害の重い子の発達を学ぶ、医療と教育、キャリア教育を考える、障害児教育の豊かな条件づくり、障害児学級での授業づくり・学級づくり、集まれ臨時教員

## 【1月8日(日)】

### ◆文化バザール

ウクレレ講座、カラーセラピー、教材あれこれ、アイヌ文化講座、自分たちの歌づくり

### ◆基礎講座 (12:30～17:00)

「発達」っておもしろい、えがこう!豊かなインクルーシブ教育の未来

### ◆旬の実践分科会 (12:30～17:00)

障害児学級での教育実践、通常学級・通級指導教室での教育実践など12分科会

## 【1月9日(月)】

### ◆教育フォーラム (9:00～12:00)

高等学校における特別なニーズをもつ子どもたちの教育、とっておきの授業づくり・学校づくり、子ども理解にもとづく教育目標・教育評価

### ◆参加費について

・3日間	3,000円
・7日もしくは8日のみ	2,000円
・9日の教育フォーラムのみ	1,000円

## <お知らせ>

中学校歴史教科書問題を研究している札幌の「教科書を考える会」から、道教組組合員の方に資料提供の申し入れがあり、何回か別印刷で送付させていただきます。歴史教科書の問題点を学習していただけたら幸いです。

## 編集後記

後志管内6町の教育キャラバンで、町長、教育長と懇談を行い、地方の自治体が教育条件整備で子どもたちのために頑張っている状況がよく分かりました。新入学の高校生制服代補助、通学費補助、医療費補助など、どの町も過疎化と少子化の中、地域おこしと教育条件整備に力を入れていま

す。地域の学校が少子化になりつつも、「地域の学校を残したいという熱い思いがあり、運動会や学習発表会の準備や当日に手伝う保護者、地域住民がいるから」と語る教育長。教職員の働き方にももっと気配りしていただけたら、と思いつつ札幌に帰ってきました。(新保)

## わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



「きじひき高原」から

5月初旬の遠足で訪れた、北斗市の「きじひき高原」から眺めた函館山。その後方には青森下北半島がうっすらと見えます。左下には新函館北斗駅。青森市までの時間は縮み、財布の中身も縮んでしまう新幹線が走ります。

【阿部 伸郎（七飯町大沼小学校鈴蘭谷分校）】



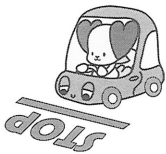
「消しごむはんこ作り」

季節に応じたはんこ作りをしています。時々、子どもたちと一緒に作っています。カードにして贈るととても喜ばれ、嬉しくなります。

【棟方 和江（函館市凌雲中学校）】

# 全教自動車保険

「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント！  
加入するとドライブレコーダーも当たるかも！



小納谷部長  
川上企画

11月になり、  
タイヤ交換の時期に  
なりました。  
峠はいち早く  
雪が積もりますので、  
遠出の方は要注意。  
全教自動車保険は、  
教職員の身分を守ります。  
是非ご加入ください。

提携 東京海上日動火災  
保険株式会社

### 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2016年11月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>